

福井県立病院 市民公開講座

共催：富山県立中央病院

大腸がん 最新治療を紹介

北陸で唯一、陽子線がん治療を行う福井県立病院は、富山市の北日本新聞ホールで市民公開講座「最新の大腸がん治療」を開きました。富山県立中央病院の廣瀬淳史外科部長が大腸がんの成り立ちや手術方法について、福井県立病院の佐藤義高陽子線がん治療センター科長が陽子線によるがん治療について講演しました。



佐藤氏(左)と廣瀬氏(右)の講演の様子。佐藤氏は福井県立病院陽子線がん治療センター科長、廣瀬氏は富山県立中央病院外科部長。

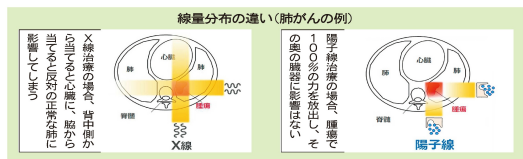
大腸がん術後の少数転移に対する陽子線治療～肺転移3カ所以内であれば保険適用になります～

福井県立病院陽子線がん治療センター科長 佐藤 義高氏



体の負担少なく強い照射

がんの治療法は手術・化学療法(抗がん剤、放射線治療)があります。放射線治療は、光に誘導した陽子線のDNAを壊すことで、がん細胞にダメージを与えます。陽子線はがん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。陽子線は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。陽子線は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。



大腸がん転移にも陽子線治療が有効です。陽子線治療は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。陽子線治療は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。陽子線治療は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。



大腸がんの手術は、取り残しがなく、がんが再発しないように、がんを完全に切除する必要があります。陽子線治療は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。陽子線治療は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。

ロボット手術が拡大

ロボット手術は、手術の精度を高め、手術の負担を減らすことができます。ロボット手術は、手術の精度を高め、手術の負担を減らすことができます。ロボット手術は、手術の精度を高め、手術の負担を減らすことができます。ロボット手術は、手術の精度を高め、手術の負担を減らすことができます。

大腸がんの手術は、取り残しがなく、がんが再発しないように、がんを完全に切除する必要があります。陽子線治療は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。陽子線治療は、がん細胞を死に至らしめることで、がん細胞の増殖を抑えます。

福井県立病院 陽子線がん治療センターは北陸で唯一の陽子線治療施設です。

通院費助成制度があります

富山県からの通院も可能です。主治医の先生方と連携して治療にあたります。富山県内に住む患者さんに治療を受けてもらうため、福井県が通院1回につき、3,000円を助成する制度があります。詳しくは、下記の相談専用ダイヤルにお問い合わせください。

福井県立病院 陽子線がん治療センター

〒910-8526 福井市四ツ井2丁目8-1(福井県立病院内) 相談専用ダイヤル 0776-57-2981
URL: https://fph.pref.fukui.lg.jp/departments/center/proton-therapy/ 8:30～17:00 土日祝日除く
【アクセス】JR福井駅から車で約5分、バスで約10分/北陸自動車道福井IC、福井北ICからそれぞれ車で約10分

